

参議院議員 古賀ゆきひと

すべては子どもたちのために

オミクロン対策緊急提言

1. 子どもたちへの感染を防ぎます。

- ・保育士、幼稚園教諭、教職員等へのワクチン優先接種を行います。
- ・十二歳以上の希望する受験生等へのワクチン優先接種を行います。
- ・感染拡大地域では、子どもたちを含めた定期的なPCR検査を行います。
- ※フライバシー保護やいじめ、心身への負担軽減等に配慮します。
- ・家庭内におけるわかりやすい感染防止策の普及に努めます。
- ・子どもに発熱があった場合の対応を明確化します。
- ・すべての子どもが入院して治療を受けられる体制を整備します。

2. 子どもたちの居場所を守ります。

- ・休校時は学校で午前預かりと給食を実施します。学童保育は午後預りを行いつつ、終日化も検討します。
- ・図書館・公民館、学校の図書室の学習場所など、在宅学習が難しい小中高生等のための居場所を確保します。

3. 子どもたちの学びを応援します。

- ・学校や学童保育での感染防止教育の徹底と必要な資機材の追加支援を行います。
- ・分散学習やリモート授業の実施のための学習指導員等を増員します。
- ・リモート授業やハイブリッド授業のため、家庭内の通信環境確保を支援します。
- ・学校行事や課外活動におけるタブレット活用を柔軟化します。

4. 子どもたちの保護者を応援します。

- ・学校等休業助成金・支援金が確実に給付されるようにします。
- ・子どもの健康状態を園や学校と共有できるアプリ等の活用を進めます。
- ・在宅勤務やテレワークをいっそう推進していきます。
- ・保護者からの電話・SNS相談窓口を設置します。

皆さんの声を国会へ。立憲民主党の提案により

ひとり親世帯の子どもたち

約4万人の

10万円給付実現へ

【政府は「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」として10万円給付を実施しましたが、いくつかの問題が発生。立憲民主党は解決策を示して取り組んできました。】

政府が支給時期を急ぐあまり、制度の欠陥が判明しました。10万円の給付は、昨年9月時点の児童手当給付世帯に支給されるため、9月以降に離婚したひとり親などに渡らないケースがあります。

立憲民主党は国会でこの問題を取り上げ、政府に改善を求めてきました。

1月25日の衆院予算委員会では、福岡10区選出の城井崇代議員（政調会長代行・県連代表）が国の責任での給付を強く求めたところ、担当大臣が「全額国費で給付したい」と見直しを明言。国民の声を受けた立憲民主党の主張により、国を動かすことができました。



立憲民主党が国を動かす

参議院議員
古賀ゆきひと

元FBS福岡放送キャスター

1959年4月9日生まれ、県立明善高、明治大政経卒
2016年参議院議員選挙（福岡県選挙区）で初当選



←古賀ゆきひと
ホームページ

ブックマーク
チャンネル登録
お願いします!

Youtube →
コガちゃんねる

